

報道各位

2024年1月26日
国立国際医療研究センター
全国健康保険協会

○国際科学誌『Atherosclerosis』掲載

ハイリスク者の健診後の医療機関受療タイミングと、 循環器疾患の入院及び全死亡リスク

（要旨）

全国健康保険協会（協会けんぽ）は、2020年度より加入者約4,000万人分の匿名化された健診・レセプトデータを分析できる環境を外部有識者に提供する委託研究事業を開始しました。本研究事業を通して、国立国際医療研究センター国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター 磯博康センター長の研究グループは、健診事業および健診後の受診勧奨事業に着目し、健診所見上の重症化ハイリスク者の医療機関への受療が、その後の循環器疾患による入院や全死亡のリスクを低減するかを検討しました。

本研究結果から、重症化ハイリスク者に対しては、健診後のより早い段階での医療機関受療が循環器疾患の入院や全死亡リスクの低下に寄与する可能性が示されました。

本研究成果は、国際科学誌 Atherosclerosis に、2023年12月3日にオンラインで発表されました。

【研究の背景】

勤労者およびその家族がいかに重篤な疾患に陥ることなく仕事を続けることが出来るかは、個人のみならず企業にとっても重要な課題です。協会けんぽにおいては、平成30年度からインセンティブ制度を導入し、健診や特定保健指導の実施率の向上、特定保健指導対象者の減少および後発医薬品使用の推進と共に、医療機関への受診勧奨を受けた要治療者の医療機関受診率の向上に努め、ハイリスク者に対する重篤な疾患発症の予防に尽力しています。本研究は健診事業および健診後の受診勧奨事業に着目し、健診所見上の重症化ハイリスク者の受療行動が、その後の循環器疾患による入院や全死亡のリスクを低減するかを疫学的に明らかにしました。

【本研究の概要・意義】

本研究では重症化ハイリスク者412,059人（男女35-74歳）のコホートを構築しました。次の基準のいずれかに該当する者はハイリスク者と定義しました：1) 収縮期血圧160mmHg以上または拡張期血圧100mmHg以上、2) 空腹時血糖130mg/dL以上またはHbA1c7.0%以上、3) LDL-コレステロール180mg/dL以上（男性のみ）、あるいは4) 尿蛋白2+以上の者で、医

療機関で通院治療中ではなく、かつ心疾患、脳卒中、腎不全の既往がない者。医療機関の受療は ICD-10 コードと診療行為コードを用いて判定しました。ハイリスク者は健診後の医療機関での受療の有無・受療のタイミングによって 4 群に分けました：受療無し、早期受療（3 か月以内）、中期受療（4～6 か月以内）、後期受療（7～12 か月以内）。主要評価項目は、脳卒中（ICD10: I60-I69）、虚血性心疾患（ICD10: I20-I25）、心不全（ICD10: I50）による初回入院または全死亡のアウトカムとしました。Cox 比例ハザード回帰モデルを用いて、健診後の受療時期と、脳卒中、虚血性心疾患、心不全による入院及び全死亡リスクとの関連を検討しました。さらに、性別、年齢、危険因子数、企業規模、地域、業種、保健指導実施状況による層別解析を行いました。

結果として、中央値 4.3 年の追跡期間中に、脳卒中、虚血性心疾患、心不全による入院または全死亡のアウトカムを有する合計 15,860 例を同定しました。図に示すように、健診後に受療無し群と比較して、循環器疾患による初回入院または全死亡（コンポジットアウトカム）の多変量調整ハザード比（95%信頼区間）は、早期、中期、後期受療群でそれぞれ 0.78（0.74, 0.81）、0.84（0.78, 0.89）、0.94（0.89, 1.00）でした（下図）。個別のエンドポイントに関する分析では、早期受療はすべてのエンドポイントのリスクの有意な低下と関連しており、リスクの低下は脳卒中と心不全による入院でより大きい結果でした。さらに、性別、年齢、危険因子数、企業規模、地域、業種、保健指導実施状況別にみても同様な関連を認めました。

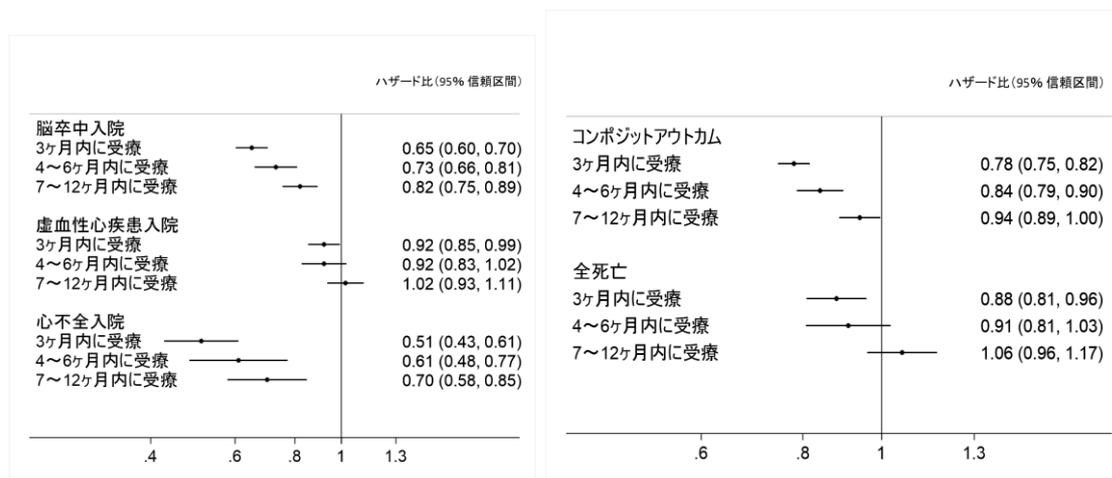


図 医療機関への受療のタイミングと循環器疾患の入院、全死亡のリスクとの関連

【今後の展望】

本研究は観察研究であるものの、生活習慣病の重症化予防を目的とした医療機関への受療促進の効果を示唆する結果として循環器疾患による入院並びに全死亡のリスクの低下との関連が認められ、生活習慣病予防政策において、重症化ハイリスク者に対してより早期に医療機関の受療を促すことの重要性が支持されました。

【発表雑誌】

雑誌名 : Atherosclerosis (英文雑誌名)

論文名 : Timing of clinic visits after health checks and risk of hospitalization for cardiovascular events and all-cause death among the high-risk population. volume 388, 117409, January 2024.

掲載日 : 欧州標準時間 2023 年 12 月 3 日に先行してオンライン版に掲載。

DOI : <https://doi.org/10.1016/j.atherosclerosis.2023.117409>

【参照 URL】

Atherosclerosis

<https://www.sciencedirect.com/journal/atherosclerosis>

《本件に関するお問合せ先》

国立国際医療研究センター国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター

責任著者役職名 磯 博康 (いそ ひろやす)

電話 : 03-6228-0562 (内線 2216) FAX : 03-6228-0564

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

《取材に関するお問合せ先》

国立国際医療研究センター 企画戦略局 広報企画室

電話 : 03-3202-5181 (直通) <9:00~17:00>

E-mail : press@hosp.ncgm.go.jp

《『外部有識者を活用した委託研究事業』に関するお問合せ先》

全国健康保険協会 企画部 調査分析・研究グループ

担当 : 馬場 武彦

電話 : 03-6680-8476 (直通) FAX : 03-6680-8899

E-mail : 99kenkyu.86t@kyoukaikenpo.or.jp